



新春特別号



十勝勤医協

友の会ニュース

医療法人 十勝勤労者医療協会

帯広市西9条南11丁目1番地

0155-21-4718

発行責任者 藤田 敏明

URL: <http://www.tokachi-kin-ikyo.or.jp>

E-mail: soshiki@tokachi-kin-ikyo.or.jp



撮影：藤田一彦（2005年12月7日 河西郡芽室町郊外にて日高山脈を望む）

二十年の歩みを振り返り

新たな前進を開始しよう

医療法人 十勝勤労者医療協会

理事長 浅沼建樹

新年おめでとうございます。平和や、医療・福祉への攻撃が強まる中で迎える新しい年です。気持新たに意気高く前進しましょう。

十勝勤医協は今年の六月二日で診療を開始して二十年になります。患者さんや地域の人々、そして友の会の皆さんに支えられながら社員・職員が力を合わせて頑張ってきた二十年です。この二十年を振り返ると、十勝に民医連の旗を掲げた意味が良くわかる気がします。民医連らしさを発揮してこの十勝の医療に微力ながら貢献することもできました。高額療養費の委任払い制度など、全国的に見ても先進的な活動も行われ、その流れは今の社保協に受けつがれ、患者さん、利用者さんの生活を守る大きな支えとして発展してきました。皆さんと一緒にやってこれたこの二十年を喜び合うとともに、大きな力を発揮された友の会の皆さんに感謝と敬意を表します。知恵と力を結集

してこれからも頑張っていきたいと思います。

さて皆さん、昨年末に自民党の「新憲法草案」民主党の「憲法提言」が相次いで出され、私達が平和に、自由に生きる権利が危うくなっています。また、憲法改悪の為の国民投票法案を今年中に決めようと動きが急になってきています。この憲法九条を中心とする改悪を許せば日本の進んでゆく方向が戦争へと大きく変えられ生存権や、基本的人権まで大きく制限されることとなります。反対する運動も九条の会を中心に全国でくり広げられています。私達も昨年来この運動に取り組んでいますが、構えも動きもまだまだ不十分です。医療、福祉への攻撃をはね返し、憲法改悪を許さない大きな運動をまき起こしてゆく必要があります。力を合わせて頑張っていきましょう。皆さんの健康と願い、私も運動の先頭に立つ決意を表明し年頭のあいさつとします。

謹んで新年のお喜びを申し上げます

医療法人十勝勤医協労者医療協会

理事長

浅沼 建樹

専務理事

藤田 敏明

常任理事

石川 千春

深町 知博

理事

跡小 裕夫

片倉 正若

真杉 智幸

高杉 邦友

中山 野村

高田 橋本

中山 橋本

高田 橋本

中山 橋本

高田 橋本

中山 橋本

高田 橋本

中山 橋本

高田 橋本

他職員一同

今本 野川 光栄 昭子

稲笠 典信 昭幸

葉松 清秀 孝子

村田 清直 明也

重平 橋田 典

高野 高橋 忠

歩んで20年 をさらに



樹雄 献幸

十勝勤医協理事長・白樺医院院長
十勝勤医協友の会連絡協議会会長
帯広病院事務職員
ケアセンター白樺管理栄養士

今年の六月で 診療開始二十年

長谷川 明けましておめでとございます。十勝勤医協は今年で診療開始二十年になります。そこで今日は、浅沼理事長、高野会長、青年職員の江口さんの三人に、十勝勤医協二十年の歩みと今後の展望などを大いに語っていただきます。司会を

あふれる待合室 ～病院化の頃～

浅沼 八九年に帯広病院を病院化した時に、小倉先生に次ぐ二番手として十勝に来ました。友の会員拡大や資金結集、患者結集でも順調に伸びていた時代でした。小倉先生と木村孝先生の三人で診療していましたので、外来を診ながら入院も診



江口 献

高野 私が十勝勤医協と関わったのは二十年のうちの後半八年間です。老健施設の建設資金を集める頃からです。七年間、友の会連絡会の役員をしています。江口 入職四年目です。一年目に老健施設の相談員として高齢者や家族の

期間中に目標達成 成就感が力に

長谷川 友の会員拡大や医療改善に反対する署名などに取り組んだ昨年の「秋の大運動」は職員も友

方とお話しできたことが大変勉強になりました。二年目に病院に移りましたが、老人クラブ等を訪問して学習会や健診を組んだりしました。地域に出ていくことで、勤医協が地域に支えられている病院ということを実感できました。

草創期の十年と 質を高めた十年

高野 本部長の浅沼理事長が「決めた目標をやり遂げることが十勝の伝統」と励ましてくれましたが、目標をみんな達成できたという成気感は今後の大きな力になります。月間期間中に達成できたことは日々です。奮闘された皆さんに感謝しています。

長谷川 昨年は若い職員も頑張りましたね。大運動の前にはジャンボリーもありましたね。江口 昨年、民医連の全国青年ジャンボリーが洞爺湖でありましたが、その実行委員をやり、各地の青年が積極的に活動していることに大いに刺激を受けました。若い職員が集まるとエネルギーが出るのでジャンボリーの活動は大事だなと思います。ジャンボリーでは

以前にルーツを探るといふ企画もあり、小倉先生はじめ創設の頃の人の話を聴き、地域の皆さんと一緒につくってきた十勝勤医協の歴史を学ぶことができました。

高野 友の会員は今三万二千人になりましたが、最初の十年で二万人になっていました。職員と友の会員が一緒につくりあげてきたその十年があったから今日の十勝勤医協があります。その後の十年

外科開設構想から 老健施設へ

長谷川 私が入職した頃は九十年代長期計画の実現をめざしていましたが、その後の発展はどうでしょうか。浅沼 九五年に柳町病院を開設しましたが、実は九十年代には帯広病院を百二十床にして外科を開設することをめざして

以前にルーツを探るといふ企画もあり、小倉先生はじめ創設の頃の人の話を聴き、地域の皆さんと一緒につくってきた十勝勤医協の歴史を学ぶことができました。

思いを大事にする 医療・介護を

長谷川 介護保険の改悪に続いて今年も医療も改悪されようとしています。が、今後の十勝勤医協はどんな医療をめざしたらいいのでしょうか。浅沼 まず地域から求められているものは何かを明確にしておくことが必要ですが、高齢化時代の要求にも応え、患者さんや利用者の思いを大事にする医療・介護を実践することです。病棟機能もいま検討しているところですが、経営的にも成り立つ医療が求められます。問題はそれをやりきる職員集団をどうつくりあげていくかです。事業所の数が増えて以前より力が分散していますが、それを担う職員を養成していくことです。



浅沼 建樹 理事長

高野 小泉「構造改革」で医療への攻撃が強まっ

地域と共に 共同の営み



建幸美
沼野口
浅高江
司会 長谷川

**新春
トーク**

て、医療を受けられない人が増えていますが、そういう人たちに民医連がどう関わって最後の拠り所としての役割を果たしていくのか、そのために

友の会が十勝勤医協とのパイプ役となっていくことが今後の友の会活動では最も大事になると思います。

具体化するべき 友の会の経営参加

長谷川 今年診療報酬と介護報酬の同時改定があります。経営がますます厳しくなりますが、職員と友の会がどう共同したらいいでしょうか。
高野 診療報酬は三%以上引き下げということ

ですから、経営も今までの様にはいきませんね。職員の日々の生活が成り立たなければ医療はやれませんが、なおかつ患者を守る民医連らしさが求められますので、職員と友の会が英知を出し合う



司会 長谷川美幸

ことが必要です。
長谷川 友の会の経営参加で考えられていることはありますか。
高野 自治体合併への対応に参考になる例があります。例えば大分県では五十八の自治体が十八になり、その中に日田町という合併しない自治体があります。そこ

では草刈りなど公園管理を住民が行うことで年間三千七百万円浮かす、あるいは学童保育も公民館を開放して地域住民が担うことで費用をゼロにするという事です。友の会も送迎に参加するなど、十勝勤医協の経営を支える活動を真剣に考えなければなりません。

施設の役割と 地域での支え

長谷川 昨年十月から老健入所者の食費と居住費が介護保険から外されまし

とっています。アプラン作成に関わる利用者とのつながりがいっそう大事になります。医療から介護への流れの中で高齢者の要求や思いに

長谷川 友の会でそういう助け合いや健康づくりの活動を発展させるために、名称問題が検討課題と聞いています。
高野 十勝には十勝勤医協とファーマケア十勝の二つの民医連加盟法人があり、友の会はその二つの法人の共同組織です。それを分かりやすくするために、名称から十勝

勤医協をとって、例えば「十勝健康友の会」とするのがいいのではないかと考えています。地域で健康づくりやまちづくりをすすめる住民組織を十勝勤医協とファーマケアが応援するという姿が望ましいと思います。
浅沼 あせらずに検討したらいいと思います。友の会がまちづくり運動



高野 幸雄 会長

ですが、ジャンボリーの企画でもお食事会の見学が

域の助け合いに僕らも励まされます。

まちづくり運動と 友の会の名称問題

長谷川 友の会ですうい

勤医協をとって、例えば

江口 僕は業務が忙しくても忘れてはいけないことは患者さんの話を聴くことだと思っています。以前からみんなに何故この職場で働き続けているのか聞いてみたいと思っていたのですが、僕は患者さんと話しをして、患者さんが納得してくれたら、安心してくれた時にこの仕事をしたいと思いたったなと思います。こういう積み重ねが、患者さ

がいいでしょうね。これも、運動がそこまで発展しているから出てきた課題ですね。

職員も友の会も 新たな時代へ

長谷川 そろそろ時間で、最後に今年の抱負などを一言ずつお願いします。私からいきますが、昨年ケアマネージャの資格を取りましたので、今年は栄養ケアマネジメントにいつそう力を

団が頑張っている環境をつくっていききたいものだなと思います。

高野 今後の民医連運動の発展にとって必要なことは、一つは、友の会も職員も共同組織の存在価値についての理解を深めることです。もう一つは、友の会活動の担い手の世代交代です。設立以来の世話人が地域で先頭に立っていますが、相当高齢化しています。新たな担い手の参加が求められています。いま活発に活動している友の会は新たな世話人が出てきた地域です。二十年の節目の課題です。

青年の頑張り 活気ある病院に

江口 僕は業務が忙しくても忘れてはいけないことは患者さんの話を聴くことだと思っています。以前からみんなに何故この職場で働き続けているのか聞いてみたいと思っていたのですが、僕は患者さんと話しをして、患者さんが納得してくれたら、安心してくれた時にこの仕事をしたいと思いたったなと思います。こういう積み重ねが、患者さ

がいいでしょうね。これも、運動がそこまで発展しているから出てきた課題ですね。

た。

友の会連絡会「コーナー」 生き生き広場

一年の疲れを 温泉でほぐす

川西友の会

十一月二十日、秋の収穫作業も終わりホッと息をつく間もなく世話人会が行われました。今回の世話人会は、川西を飛び



出し、大樹町の晩成温泉で行いました。残念ながら参加できない世話人さんもおりました。

一年間で苦労さまざまいうことで袋詰め作業を早めに済ませ、海の見える温泉にゆつくりつかり、一年の疲れを癒し、皆大満足しました。その後、手づくりのビンゴゲームを行い、頭をほぐし楽しみました。

「友の会員」と「いつでも元気」の目標が達成し、署名もまずまずの集約。「仕事が終わつたばかりで、これから頑張る」「老人会でも署名頑張らなくては」という世話人さんもあり、引き続き頑

張ろうと確認し、有意義な集いとなりました。
(川西友の会
伊澤佐恵子)

「年越しそば」は この腕で

清水友の会

十一月二十二日、町内の安田義男さんを講師にそばづくり講習会を行いました。今回で四回目の講習会には十三人の方が集まりました。

大板ののし板の上に、ソバ粉、打ち粉、のべ棒、ソバ切り包丁、切り板などすべての道具は安田さんが用意し、途中で「注意」などもありましたが、あつという間にどんぶり一杯のそばがのどごしを過ぎていきました。持ち寄った漬け物もおいしく

つたです。「大晦日には、この腕で！」と意気込んでいる人もいました。初雪が大降りになった日で

したが、体が暖かくなつた一日でもありました。
(清水友の会
妻鳥 靖子)



頭の体操

次の口に漢字一字を入れ、二字の熟語を作り、口の漢字を並び替えて、○の中に口の文字を並び替えて入れ、答えの文を完成させてください。
出題者は森勇二さん(札幌市)です。

復典 □代 □低 □波
準太 □害 □突 □躍 発 □楽
治 □害 □雄 □行

【○池や蛙○び込む○の○】
(答えは全文記入をお願いします)

【応募方法】

解答とお名前、住所、電話番号をハガキか電子メールで、左記へお送りください。

【宛先】

〒080-0019
帯広市西九条南十一丁目
十勝勤医協会館内

友の会ニュース編集部
○電子メール
soshiki@tokachi-kin-ikyo.or.jp

【賞品】
抽選で十名の方に、千円分の図書カードをお送りします。

【締め切り】
一月二十日(当日消印有効)。発表は第二六二号

【第二五八号の当選者】

答えは、Aは(3)
Bは(1) Cは(2)

でした。応募総数三十四通、正解者三十二通の中から抽選により、次の十名の方が当選しました。
(敬称略)

- 石井俊子・黒須ゆり・平間慶一・吉沢澄子(以上帯広市)・酒井志津子・佐藤ミイ(以上音更町)・松田美希(幕別町)・山田行之(大樹町)・内田良子(清水町)・榎木里実(札幌市)

※頭の体操の問題を募集しています。採用の際には、図書カードを贈呈します。

読者の声

運動を続けて

四キロ体重減

山田 公子さん(北広島市)
軽度の糖尿と指摘され、食事に注意を払い、運動を続けて四キロ体重をおとしました。血糖値は正常に、早期に発見され、指摘されて良かったと思えました。

小泉さん「国民」を

守れるのか!
佐藤 セツさん(帯広市)

第7回友の会世話人交流会

～企画のご案内～

I. 全体会講演

演題 高齢者、障害者に優しいまちづくりを目指して
一言を失い、寝たきりの妻に寄りそい10年—
講師 野瀬 義昭氏(元道東勤医協友の会連合会事務局長)

II. 分科会

- ①「高齢者、障害者に優しいまちづくり」
- ② みんなで交流・憲法ひろば
- ③ 本音で語ろう「友の会活動」
- ④ ドクターと気軽にトーク
- ⑤ 「川柳」を楽しもう
- ⑥ 料理教室
- ⑦ 太極拳

III. 夕食交流

- ①青年職員からの報告(全国ジャンボリー)
- ②個人・友の会からの出し物

日程 2006年1月21日(土)～22日(日)
場所 十勝川温泉 笹井ホテル

健康を

意識する年令に

最近、子供さんの事件が多くなった様な気がしますね。大人でも自分が自分がセーブ出来ない人が増えてきたのではないのでしょうか。家庭、仕事、人との付き合いと昔の様に声を掛けあう事がなく自分自身、人は人と人間らしさがなくなった気がします。これも世の中暮らしぶりになったせい

です。上にいる人が弱い国民の事、真剣に考えて政治を進めてくれないからです。(北広島市の山田さんのお話(十二月掲載)に同感です。私達もこれから先、老後の設計どう立てたら良いのかわかりません。つましくて楽しく健康であれば良しとしなければとも考えています。小泉さん、しっかり国民守れるのかい。

長生きは

素晴らしい

ことですが……
嶋田 禧子さん(帯広市)

政府は医療費改革大綱を正式決定され、試案からわずか四十日難題解決を目指すにはあまりにも期間が短すぎると新聞に書かれてました。本当にそうです。高齢者に重く乳幼児が軽くなるのも少子化時代の表れです。

私はあと二年で七十才患者負担一割と聞いていたのに七十五才以上に繰

頭の体操楽しみ

小森 保さん(帯広市)
頭の体操毎回楽しみに見ております。これから頑張ってください。

◇リングプル情報◇
車椅子七台目まで
あと一〇kgです。
(七八〇kgで車椅子一台)

※友の会員の皆様へ
「読者の声」への投稿をお待ちしています。日頃思っていること、ニュースの感想などお聞かせください。